

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智徳

事業名 環状第8号線（小豆沢・赤羽・岩淵）・放射第10号線 <small>かんじょうだいはちごうせん（あずさわ・あかはね・いわぶち）・ほうしゅだいじゅうごうせん</small>	事業区分 街路 <small>とうきょうとけいけい</small>	事業主体 東京都 <small>とうきょうと</small>
起終点 自：東京都板橋区東坂下一丁目 <small>とうきょうといたばしくひがしあしたいちちようめ</small>	至：東京都北区岩淵町 <small>とうきょうときたくいわぶちまち</small>	延長 3.3 km
事業概要 環状第8号線は、大田区羽田空港三丁目から北区岩淵町に至る計画延長4.2kmの環状道路であり、都心へ流入する通過交通を分散し、周辺の都市相互間の連絡を強化する骨格幹線道路である。また、放射第10号線は、千代田区大手町一丁目から北区岩淵町に至る計画延長13.5kmの放射方向の骨格幹線道路であり、都心へ集中する交通を分散、誘導し、道路交通の円滑化を図るものである。 本区間は、赤羽北地区再開発事業区間を除く延長約3.3kmを4車線道路として整備するものである。		
S61年度事業化	S21年度都市計画決定	S61年度用地着手
H4年度工事着手		
全体事業費	約53.2億円	事業進捗率
計画交通量	31,680台/日	供用済延長
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 5.6 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) / 822億円 事業費： / 803.7億円 維持管理費： / 18.3億円
総便益	(残事業)/(事業全体) / 4,634億円 走行時間短縮便益： / 4,492.8億円 走行費用減便益： / 141.1億円 交通事故減少便益 / 0.0億円	基準年 平成15年度
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（羽田空港へのアクセス向上） ・都市の再生（都市再生プロジェクトを支援する事業）		
関係する地方公共団体等の意見 ・「区部における都市計画道路の第二次事業化計画」（H3～15）において優先的に整備すべき路線に選定されている。 ・「東京構想2000」（H12.12策定）において渋滞解消と防災軸や災害時の輸送ネットワークとして重要な路線であり、着実な整備が求められている。		他9項目に該当
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・本事業区間の整備に並行して沿道開発が進み、土地利用の進展がみられる。 ・本事業に合わせて、赤羽北地区再開発事業による環状第8号線及び交通広場等の整備が平成14年度末に完了した。（東京都施行）		
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地買収が難航し、工事着手までに時間を要したものの、現在までに約2.3kmを部分供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年度末までに用地買収を完了させる予定である。全線にわたり工事を進めており、平成17年度末に全線交通開放の予定である。		
施設の構造や工法の変更等 本事業区間は街築工事が主体であり、事業手法、施設規模等の見直しの可能性はない。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。